

逗子ならではのまちづくり

一級建築士・デザイナー

完全無所属・無党派

逗子生まれ逗子育ち

逗子市議会議員

松本ひろしの活動

松本は「逗子ならではの豊かさ」を追求しています
自らの職能と30年来の環境ボランティアの経験そして、郷里への愛情をもって誰もが住みたい、住み続けたいと思える逗子の魅力を再構築しています

逗子の豊かさの礎

まちを抱く丘陵は、四季の美をまとい

川は、まちなかを散策し

海は、富士とともに陽の帰りを待つ

逗子のくらしの根本に

たおやかな自然との調和があります
なぜ、都心ではなく

子育ては逗子でと思うのでしょうか？

なぜ、通勤に時間をかけても

逗子に住まうのでしょうか？

なぜ、余生は逗子で願うのでしょうか？

なぜ、逗子でくらすことに幸せや満足を感じるのでしょうか？

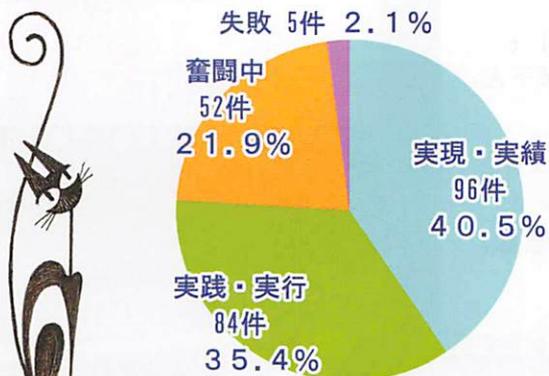
逗子において自然とは

あらゆるくらしにおける「豊かさの礎」との確信から

松本は海で、山で、川で、緑へ、市民と共に活動を展開しています

松本ひろし活動実績

松本は、議会活動に加え街なかでの活動を重視してきました。新規94活動/期は自己最多、全237活動に従事し1.74haの緑地等を創・再生、乱開発から守りました



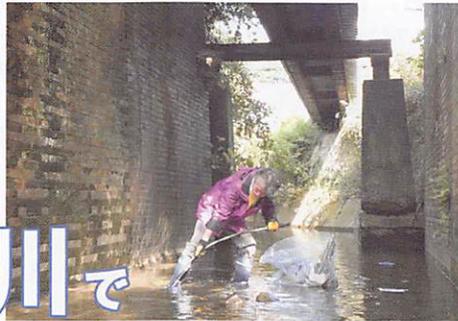
(3期目11年9ヶ月・2021.12現在)



夏の海岸警備2010～
海岸ゴミ持ち帰り呼びかけ



海の文化規制条例に単独反対
2013～ 海浜文化の創造へ



川で

ホタル生息域の環境保全2012～
ホタル仕様の街路灯を設置



まちなみデザイン逗子
実践スポット認定

田越川上流域 一斉川清掃
2012～10周年



山で

気候変動による災害の激甚化
調査と対応



崖崩落・倒木・越水・建物倒壊等
災害復旧支援



緑へ

擁壁の壁面緑化2016～
カロライナジャスミン植付



緑を破壊する乱開発との戦い
警察の応援も



深夜の
街路灯調査

SDGsカフェ



避難所の
整備と新設

市民と

新しい公共の姿を
地域団体・市民活動皆さんと共に

各地域の防災計画とその推進
地域団体・自治会皆さんと共に



対ウィルス！ 街へ山へ海へ

松本の新型コロナウイルス対策

■ 実現しました ■ 実践しました ■ 奮闘中です ■ 失敗です

以下は「活動実績」一覧の新型コロナウイルス対応1~10の詳細です。WEB▶



■ 新型コロナウイルス対応1：避難所におけるウィルス対策

⇒ 避難所での感染蔓延の脅威を指摘。対策を提言 2020.2~4
⇒ 2m×2m×H1.4間仕切800人分の備蓄が予算化 2020.6

■ 新型コロナウイルス対応2：消毒液の入手と配給支援 (有志皆さんと共に)



6社の消毒液を調査研究
入手経路を開拓

⇒ アルコール消毒液が市場で枯渇する中、新たな消毒液の調査研究
次亜塩素酸水の入手経路を開拓 2020.3 **a**
⇒ 次亜塩素酸水 130ℓ 入手と配給をサポート。
約200件への配給支援 2020.4~6 **b**
⇒ 消毒液の「無料全戸配給」を市に提言 2020.4.
⇒ 市による次亜塩素酸水の無料配給開始
初回配給2025件(土:723件 日:1302件) 2020.5 **c**
⇒ 次亜塩素酸水に対する否定的報道に反論。効果と実績を再確認
追加40ℓ 入手と配給支援を継続 2020.6~8

■ 新型コロナウイルス対応3：夏に向けた海浜周辺地域への注意喚起 2020.6

⇒ 海水浴場の開設が見送られることから、各種対策を市に提言(事故、治安、ゴミ他)
⇒ 対策を新宿地区と協議・提言。市長、担当所管との面談を企画・サポート
⇒ 国道沿い飲食店に県の「ウィルス対策チェックリスト」を配布。自主対策を要請
⇒ 飲食店の自主対策を市と新宿自治会に公表・共有

■ 新型コロナウイルス対応4：例年夏の海岸警備に加え、ウィルス対策の調査と徹底

2020.8



⇒ 鎌倉・葉山との比較から、逗子は外国人の来浜が多いことを確認
⇒ ウィルス対策条例に従わない外国人を調査(2回)
⇒ 各大使館に向け市条例の遵守を呼びかけるよう議長に要請
⇒ 街頭において市民と観光客に注意喚起

■ 新型コロナウイルス対応5：感染拡大を受け県内歯科大学を慰問・意見交換

⇒ 第3波(感染者数最大を更新)を受け大学を慰問。感染防除対策について意見交換
消毒薬、フェースシールド、マスク、防除服等の対応を確認 2020.12
⇒ 感染防除体制の合理化・効率化を確認 2021.7 2021.12

■ 新型コロナウイルス対応6：外出自粛による二次的被害(フレイル)確認

⇒ 拡散防止のための外出自粛による体力・免疫力の減退、精神虚弱等の
実態(フレイル)を調査。「二次的被害」を確認 2021.1~2
⇒ 市内の医療関連団体に「二次的被害」抑止に向け協力依頼 2021.5

■ 新型コロナウイルス対応7：「美術鑑賞とは不要不急か」



撮影：田中雄一郎

横浜美術館 副館長、経営管理グループ長と対談

⇒ 非常事態での文化・芸術の歴史と意義 2021.2
⇒ 1年超えた外出自粛による「二次的被害」抑止に向け、
大空間・感染対策完備の同館で鑑賞会を開催 3回 2021.2 **d**

■ 新型コロナウイルス対応8：フレイル抑止のため桜山ハイクと古墳案内



⇒ 「二次的被害」抑止に向け、海・川・山を活かした体力・免疫力
増進を提言 2021.3
⇒ 市内外の小学校3校の古墳案内サポート(古墳の会皆さんと共に)
⇒ 桜山尾根筋ハイクと古墳案内 個別案内3組 2021.4~ **f**

■ 新型コロナウイルス対応9：市内における著しいワクチン副反応を緊急報告

⇒ 著しい副反応の当事者と2回目接種を話し合いの上、見送り
「市内で副反応はない」との市の発表に警告 2021.6
⇒ 市内でウィルス起因の死亡1名、ワクチン起因の死亡も1名。感染が少ない地方での
健康被害のリスクは、はたしてウィルスとワクチンどちらが高いか問題提起 2021.9
⇒ 予防接種健康被害調査委員会の条例改正を可決 2021.9

■ 新型コロナウイルス対応10：感染拡大の懸念から海水浴場開設に単独反対 2021.6

⇒ 例年の来場者は3万人前後に対し、昨年同様、開設しなければ1/5の6千人。
ウィルス禍で開設し、例年同様の来場者を求める市を批判
⇒ 海水浴場開設から2週間後、市内感染者数が15倍を超える
⇒ 街頭にて市民に注意喚起 全4回17時間 2021.8 **g**
⇒ 夏の新規感染数を検証
(人口10万人当り 近隣比較：鎌倉・葉山 広域的傾向：神奈川県・東京都)
新規感染者数が、海水浴場を開設しなかった鎌倉の1.7倍に **h**
感染拡大が予想される状況で、海水浴場開設を批判 2021.9 **i**



各種消毒液の研究と配給実験 **a**



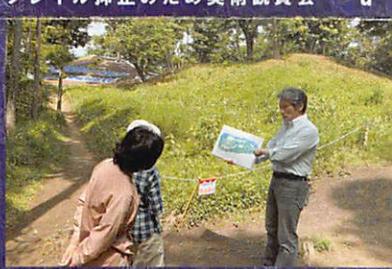
有志皆さんによる消毒液の配給 **b**



市による消毒液無料配給 **c**



撮影：空木靖之
フレイル抑止のため美術鑑賞会 **d**



フレイル抑止のため古墳案内 **f**



感染の注意喚起 **g**



夏の市内感染拡大 鎌倉の1.7倍 **h**



禁止の酒類を提供する一部の海の家 **i**

討議資料